

保育に対する認識と母親の意識——(その1)

佐藤 貴美子
(聖徳学園短期大学)

目的

最近の母親の保育態度はとく批判されることが多い。なかでも保育そのものに対する認識不足と母親としての感情や意識の変化が指摘されている。本研究は保育に対する認識の様相と母親の意識の様相と、さらにそれらの関係を調べることを目的とする。前報告(1987年)で、保育に対する認識の全般的様相を理想水準、現実水準ごとに構造化した。今回は母親の意識の様相について報告する。

方法

A, B 2種の意識調査を評定法で行った。Aでは母親の意識の問題点を見極めるために、現代の風潮として批判されるような母親像を含め、特定のパターンを想定し、それぞれのパターンが潜在するような意識内容の記述15項目を用いた。それぞれのパターンを便宜上、以下のように呼称する。①、イライラ型、②、押しつけ型、③教育ママ型、④、無視・冷淡型、⑤、お金中心型、⑥、無責任型、⑦、放任・ほんやり型、⑧、愛情軽視型、⑨、掌握型、⑩、競争・緊張型、⑪、ゆとりのないタイプ、⑫、自信派型、⑬、園まかせ型、⑭、不安の高いタイプ、⑮、理想の高いタイプ

Bでは、大日向氏の母性の研究(1988年)で抽出されている母親役割に対する積極的・肯定的受容の6項目(MP項目)と消極的・否定的受容の6項目(MN項目)を用いた。

評定は、感じたり思ったりすることが、①よくある②時々ある、③めったにない、④、全くない、の4段階評定による。

対象

東京都内の公私立幼稚園児(3~5才、195名)と公立保育園児(2~5才、180名)の母親(前報告、保育に対する認知の調査と同じ)。母親の年齢分布は29才以下:55名、30~34才:175名、35~39才:114名、40~44才:26名、45~49才:1名 その他、4名 子どもの性別は、男児 185名、女児、190名

結果と考察

(1) 表1に各項目の内容と全体の平均評定値とSDを示す(Bについては、MP, MNとしての平均、SDも付す)

(2) 表2に母親のタイプとして、15タイプを想定しそれぞれの基準と、そのタイプに分類された母親の割合、およびB項目のMP, MNの平均値とSDを示す

表 1.

	項 目	M _n	SD
A-1	よその子どもと比べて、我が子の欠点が目についてイライラする。	3.00	0.72
A-2	親の夢を子どもにおしつけている。	3.48	0.69
A-3	子どもは自然に成長していくと思う。	1.77	0.84
A-4	子どもはとても可愛いと思う。	1.19	0.49
A-5	子どもにお金をかけることは親の愛情である。	3.32	0.79
A-6	子どもの欠点が見えると、親として責任を感じる。	2.20	0.86
A-7	子どものことについて、保育園・幼稚園の先生から注意を受けて、初めて気がつくことがある。	2.99	0.71
A-8	母親の愛情こそ、子どもの心の支えであると思う。	1.59	0.79
A-9	子どもの気持や子どもの状態はよくつかめているという自信がある。	2.20	0.80
A-10	よその子どもと比べて劣らないように気をつけて努力している。	2.90	0.88
A-11	お母さん自身の心にゆとりがある。	2.51	0.81
A-12	親の生きる姿勢を見て、子どもが見習ってくれたらと思う。	2.46	1.00
A-13	子どもの教育・しつけのことは、保育園・幼稚園がやってくれたらいいと思う。	3.50	0.62
A-14	自分の育て方はこれでよいのかと不安になる。	2.48	0.88
A-15	子どもの将来の姿を思いえろき、豊かな人間性を育てようと努力している。	1.87	0.91
B-1	母親になったことで人間的に成長できた。	1.81	0.82
B-2	育児にたずさわっている間に、世の中が取り残されていくように思う。	3.39	0.77
B-3	母親であることが好きである。	1.69	0.82
B-4	子どもを育てることが負担に感じられる。	3.33	0.70
B-5	母親としてぶらまけている時が一番自分らしい。	2.58	0.91
B-6	自分の関心が子どもにはかり向いて視野が狭くなる。	3.08	0.92
B-7	母親であることに生きがいを感じている。	2.10	0.87
B-8	自分は母親として不適合なのではないだろうか。	2.86	0.84
B-9	母親になったことで気持ちが安定して落ちついた。	2.41	0.99
B-10	子どもを生まない方がよかった。	3.81	0.53
B-11	母親であることに充実感を感じる。	2.01	0.90
B-12	母親であるために、自分の行動がかなり制限されている。	2.36	0.92
MP	B1, B3, B5, B7, B9, B11	2.10	0.94
MN	B2, B4, B6, B8, B10, B12	3.14	0.91

表2

パターン	基準	人数(割合)	MP	MN
イライラ型	A1に對し 1 or 2	73 (21%)	2.17 (.91)	2.94 (.95)
おしつけ型	A2 1 or 2	32 (9.3%)	2.16 (.89)	2.95 (.89)
教育ママ型	A3 4	10 (2.9%)	2.10 (.68)	3.47 (.77)
無視・冷淡型	A4 3 or 4	6 (1.8%)	2.44 (1.18)	3.03 (1.13)
お金中心型	A5 1 or 2	50 (14.7%)	2.07 (.95)	3.02 (.94)
無責任型	A6 4	12 (3.5%)	2.10 (.88)	3.29 (1.12)
放任・おしゃべり型	A7 1 or 2	67 (19.6%)	2.16 (.95)	3.00 (.94)
愛情軽視型	A8 4	6 (1.8%)	2.47 (1.32)	3.28 (1.03)
掌握していいタイプ	A9 4	21 (6.2%)	2.60 (1.10)	2.93 (.98)
競争・緊張型	A10 1 or 2	100 (29.3%)	1.97 (.88)	3.11 (.91)
ゆとりのないタイプ	A11 4	37 (11.0%)	2.87 (1.02)	2.72 (1.03)
自信のあるタイプ	A12 3 or 4	180 (52.8%)	2.22 (.93)	3.09 (.92)
自信のないタイプ	A13 1 or 2	13 (3.8%)	2.00 (.97)	3.03 (1.00)
不安のあるタイプ	A14 1	56 (16.4%)	2.77 (.99)	2.80 (1.02)
不安のないタイプ	A15 4	19 (5.6%)	2.49 (1.12)	3.02 (1.04)

図1.

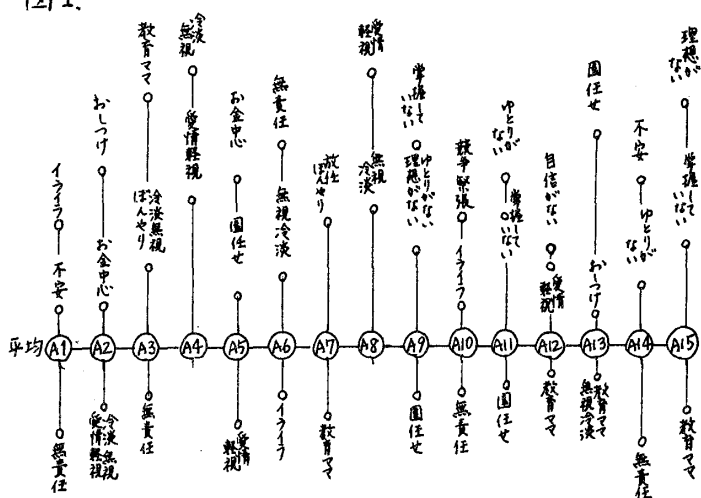


表3.

表3.			A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12	A13	A14	A15	MP	MN	
責任を感じない群	A6 1 or 2	199 (58.4%)	m	2.84	3.47	1.80	1.18	3.25	1.57	2.84	1.47	2.18	2.73	2.50	2.47	3.48	2.27	1.79	2.04	3.07
			SD	0.73	0.67	0.87	0.46	0.80	0.50	0.71	0.74	0.79	0.86	0.76	0.96	0.57	0.87	0.89	.897	.910
責任を感じない群	A6 3 or 4	142 (41.6%)	m	3.22	3.49	1.72	1.21	3.42	3.08	3.18	1.75	2.23	3.13	2.51	2.44	3.54	2.77	1.99	2.18	3.24
			SD	0.63	0.72	0.80	0.53	0.76	0.28	0.65	0.83	0.82	0.85	0.87	1.07	0.69	0.80	0.94	.992	.907
掌握型	A9 1	62 (18.2%)	m	3.27	3.58	1.71	1.06	3.31	2.21	3.24	1.26	1.00	2.84	2.02	2.27	3.39	2.71	1.45	1.80	3.20
			SD	0.66	0.62	0.91	0.25	0.86	0.85	0.69	0.57	0.00	0.94	0.80	0.98	0.80	0.78	0.72	.926	.935
掌握していいタイプ	A9 4	21 (6.2%)	m	2.90	3.24	1.95	1.52	3.48	2.43	2.95	2.29	4.00	3.24	3.67	2.86	3.43	2.24	2.76	2.60	2.93
			SD	0.83	0.94	0.80	0.75	0.98	1.03	0.67	1.01	0.00	0.77	0.48	0.85	0.75	1.14	1.18	1.10	.981
競争・緊張型	A10 1 or 2	100 (29.3%)	m	2.76	3.36	1.69	1.11	3.11	2.01	2.93	1.45	2.09	1.75	2.37	2.39	3.35	2.33	1.64	1.97	3.11
			SD	0.77	0.77	0.86	0.31	0.90	0.83	0.76	0.70	0.79	0.44	0.81	1.03	0.67	0.84	0.84	.879	.911
非競争型	A10 4	91 (26.7%)	m	3.37	3.66	1.79	1.20	3.45	2.52	3.21	1.78	2.29	4.00	2.45	2.43	3.60	2.71	2.04	2.17	3.24
			SD	0.66	0.62	0.90	0.56	0.75	0.92	0.74	0.88	0.90	0.00	0.92	1.07	0.68	0.96	1.03	1.09	.953
ゆとりのないタイプ	A11 4	37 (11.0%)	m	2.89	3.27	1.81	1.51	3.30	2.22	3.05	1.86	3.05	4.00	2.84	3.49	1.95	2.38	2.69	2.72	2.72
			SD	0.81	0.84	0.81	0.69	1.00	1.03	0.70	1.06	0.91	0.85	0.00	0.90	0.65	1.13	1.06	1.02	1.03
ゆとりのあるタイプ	A11 1	32 (9.3%)	m	3.69	3.59	1.38	1.00	3.19	2.69	3.28	1.41	1.56	2.97	1.00	2.09	3.41	2.88	1.63	1.65	3.31
			SD	0.54	0.61	0.71	0.00	0.82	0.78	0.46	0.71	0.67	1.09	0.00	1.17	0.84	0.71	0.83	.938	.902
自信のあるタイプ	A12 1 or 2	161 (47.2%)	m	3.09	3.51	1.65	1.12	3.34	2.17	2.96	1.49	2.04	2.89	2.34	1.53	3.55	2.55	1.65	1.96	3.19
			SD	0.74	0.65	0.83	0.41	0.81	0.91	0.71	0.73	0.73	0.91	0.77	0.50	0.59	0.81	0.81	.928	.902
自信のないタイプ	A12 3 or 4	180 (52.8%)	m	2.92	3.46	1.88	1.26	3.31	2.22	3.01	1.68	2.33	2.91	2.66	3.29	3.47	2.41	2.07	2.22	3.09
			SD	0.68	0.72	0.84	0.54	0.76	0.82	0.70	0.82	0.85	0.85	0.82	0.46	0.65	0.93	0.96	.935	.919
不安のある群	A14 1 or 2	155 (45.5%)	m	2.78	3.37	1.73	1.19	3.26	1.94	2.88	1.57	2.32	2.77	2.71	2.52	3.39	1.64	1.85	2.14	2.98
			SD	0.71	0.77	0.78	0.41	0.81	0.81	0.73	0.75	0.79	0.86	0.78	0.98	0.66	0.48	0.89	.918	.946
不安のない群	A14 3 or 4	186 (54.5%)	m	3.18	3.57	1.80	1.20	3.37	2.42	3.07	1.60	2.09	3.01	2.34	2.41	3.61	3.17	1.89	2.06	3.27
			SD	0.67	0.60	0.89	0.55	0.77	0.84	0.67	0.82	0.80	0.88	0.80	1.02	0.57	0.38	0.94	.958	.863

教育ママ型(2.9%), 無視・冷淡型(1.8%), 無責任型(3.5%), 愛情軽視型(1.8%), 園まかせ型(3.8%)はそれ程多くなかった。少ないとはいえ、若干あるのは理想のないタイプ(5.6%) 掌握していいタイプ(6.2%) おしつけ型(9.3%), ゆとりのないタイプ(11.0%)であった。また、MP傾向が小さいのは、ゆとりのないタイプ、掌握していいタイプ、愛情軽視型、理想のないタイプ、無視・冷淡型で、MN傾向の強いのは、ゆとりのないタイプ、不安が高いタイプであった。

(3)、Aの各項目ごとに平均からのズレの大きい主な母親タイプをとらえ、その様相を図示した(図1.) それにより、各母親タイプ間の共通性と相異性が

伺える。

(4)、表3は、a)責任を感じない群と感じない群、b)掌握型と掌握していいタイプ、c)競争・緊張型と非競争型、d)ゆとりのないタイプとゆとりのあるタイプ、e)自信のあるタイプと自信のないタイプ、f)不安のある群と不安のない群の各ペアについて、Aの各項目内有意差、およびBのMP、MNの差を検定した結果である。(※検定: * $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$ を表わす)

以上をもとに、今後は、保育に対する認識の構造と母親の意識との関係を考察していく。